

アップグレードガイド

Novell® ZENworks® 10 Configuration Management

10.2

2009 年 5 月 27 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っていない。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っていない。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2009 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell のマニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 新機能	9
1.1 アセットインベントリ	9
1.2 Asset Management	10
1.3 バンドルとアクション	10
1.4 検出と展開	11
1.5 新しいプラットフォームのサポート	11
1.6 製品の一般的なアップデート	11
1.7 インストール	12
1.8 イメージング	12
1.9 ライセンシング	13
1.10 Personality Migration	13
1.11 ポリシー管理	13
1.12 リモート管理	14
1.13 レポート機能	14
1.14 サテライトデバイス	14
1.15 アップグレード	15
1.16 ZENworks Adaptive Agent	15
1.17 ZENworks コントロールセンター	16
1.18 ZENworks マイグレーション	16
1.19 ZENworks システム更新	16
2 ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP2 (10. 2) へのアップグレード	17
2.1 アップグレード前のタスク	17
2.2 ZENworks Configuration Management 10.2 へのアップグレード	19
2.3 アップグレード後のタスク	19
2.3.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール	19
3 ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP2 (10. 2) へのアップグレード	21
3.1 アップグレードで行われない処理の理解	21
3.2 ZENworks レポーティングサーバのアップグレード前のタスク	22
3.3 ZENworks Configuration Management 10.2 へのアップグレード	22
3.4 アップグレード後のタスク	22
3.4.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール	22
3.4.2 WAIK のアップロード	23
3.4.3 ZENworks レポーティングサーバのインストール	23

このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 Configuration Management SP2 アップグレードガイド』には、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP2 (10.2) で新しく強化された機能に関する情報、およびこのリリースへ正常にアップグレードする際に役立つ情報が記載されています。

このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「新機能」
- ◆ 17 ページの第 2 章「ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP2 (10.2) へのアップグレード」
- ◆ 21 ページの第 3 章「ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP2 (10.2) へのアップグレード」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Configuration Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。追加のマニュアルについては、[ZENworks 10 Configuration Management with SP2 \(10.2\) マニュアル Web サイト \(http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html) を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

次のセクションでは、Novell® ZENworks® 10 Configuration Management SP2 の新機能について説明します。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「アセットインベントリ」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2 「Asset Management」
- ◆ 10 ページのセクション 1.3 「バンドルとアクション」
- ◆ 11 ページのセクション 1.4 「検出と展開」
- ◆ 11 ページのセクション 1.5 「新しいプラットフォームのサポート」
- ◆ 11 ページのセクション 1.6 「製品の一般的なアップデート」
- ◆ 12 ページのセクション 1.7 「インストール」
- ◆ 12 ページのセクション 1.8 「イメージング」
- ◆ 13 ページのセクション 1.9 「ライセンスリング」
- ◆ 13 ページのセクション 1.10 「Personality Migration」
- ◆ 13 ページのセクション 1.11 「ポリシー管理」
- ◆ 14 ページのセクション 1.12 「リモート管理」
- ◆ 14 ページのセクション 1.13 「レポート機能」
- ◆ 14 ページのセクション 1.14 「サテライトデバイス」
- ◆ 15 ページのセクション 1.15 「アップグレード」
- ◆ 15 ページのセクション 1.16 「ZENworks Adaptive Agent」
- ◆ 16 ページのセクション 1.17 「ZENworks コントロールセンター」
- ◆ 16 ページのセクション 1.18 「ZENworks マイグレーション」
- ◆ 16 ページのセクション 1.19 「ZENworks システム更新」

1.1 アセットインベントリ

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のアセットインベントリでは、次のタスクを実行できます。

- ◆ Novell eDirectory™およびMicrosoft* Active DirectoryからZENworksデータベースにインベントリ情報をインポートします。
- ◆ リタイアされたデバイスとデバイスコンポーネントを、インベントリカスタムレポートですべて表示します。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management アセットインベントリリファレンス』を参照してください。

1.2 Asset Management

Asset Management には、次の新機能と強化機能が搭載されています。

- デバイスおよび人口統計データ (サイト、部署、またはコストセンター) 別にライセンスを割り当てられます。たとえば、WorkstationA と WorkstationB 専用にライセンスを割り当て、Site1 のワークステーションにライセンスを割り当てられます。詳細については、『ZENworks 10 Asset Management リファレンス』の「**ライセンス割り当て**」を参照してください。
- ソフトウェア使用状況データが ZENworks コントロールセンターの [ライセンス管理] ページに表示されます。以前は、この情報はソフトウェア使用状況レポートを生成しないと使用できませんでした。
- マイグレーションユーティリティは、Asset Management データの Oracle* から Oracle データベースへのマイグレーションをサポートします。これにより、1 つの Oracle データベースの ZENworks Asset Management 7.5 データを ZENworks 10 で使用される Oracle データベースに移行できます。ソースとターゲットの両方のデータベースでサポートされる Oracle バージョンは、9.2、10.1、10.2 です。詳細については、『Novell ZENworks 10 Asset Management マイグレーションガイド』の「**システム要件**」を参照してください。
- Asset Management ライセンス状態が非アクティブ化 (製品がアクティブではない、または評価中ではない) されている場合、ZENworks コントロールセンターには Asset Management 機能が表示されません。さらに、アプリケーション使用状況モニタクライアント (ZENworks Adaptive Agent の一部) は、デバイスにインストールされません。ライセンス状態の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「**ZENworks 製品ライセンス**」を参照してください。

1.3 バンドルとアクション

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のバンドルとアクションでは、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- 次の新しい展開ステータスが追加されました。
 - **一部成功** : バンドルが実行されると、[エラー発生時に続行する] に設定されている 1 つ以上のバンドルのアクションが失敗した場合でも、バンドルの展開は部分的に成功します。
 - **Partial Completed (一部完了)** : バンドルが単一実行バンドルで、それが実行されると、[エラー発生時に続行する] に設定されている 1 つ以上のバンドルのアクションが失敗した場合でも、バンドルの展開は部分的に完了します。
- バンドルの [概要] ページで、[バンドル動作の表示] を [はい] に設定して、管理対象デバイスでのバンドル実行のアクティビティを表示します。
- ファイルバージョンをバンドルのシステム要件として使用できるようになります。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』の「**バンドル動作の表示**」を参照してください。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ソフトウェア配布リファレンス』を参照してください。

1.4 検出と展開

ZENworks 10 Configuration Management SP2 の検出と展開では、次のタスクを実行できます。

- ◆ Windows ZENworks プライマリサーバの Windows* プロキシを使用して、デバイスを検出します。
- ◆ ZENworks Adaptive Agent を Linux デバイスにサテライトとして展開します。
- ◆ IP サブネットまたはアドレス範囲を検出から除外します。
- ◆ IP ディスカバリテクノロジーを使用して、LDAP で検出されたデバイスについてさらに多くの情報を収集します。
- ◆ ZENworks Adaptive Agent を選択した機能と一緒に、ZENworks コントロールセンターからインストールします。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management 検出、展開、リタイアリファレンス』を参照してください。

1.5 新しいプラットフォームのサポート

ZENworks 10 Configuration Management SP2 では、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ 次のサーバプラットフォームをサポート：
 - ◆ SUSE® Linux Enterprise Server 10 SP2 (SLES 10)
 - ◆ Open Enterprise Server 2 SP1 (OES Linux)

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「**プライマリサーバ要件**」を参照してください。

- ◆ サテライトデバイスとして次のプラットフォームをサポート：
 - ◆ 32 ビット (x86) および 64 ビット (x86--64) アーキテクチャの SLES 10
 - ◆ 32 ビット (x86) および 64 ビット (x86-64) アーキテクチャの SLES 10 SP1
 - ◆ 32 ビット (x86) および 64 ビット (x86--64) アーキテクチャの SLES 10 SP2
 - ◆ 32 ビット (x86) および 64 ビット (x86--64) アーキテクチャの OES Linux 2 SP1

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「**サテライト要件**」を参照してください。

- ◆ 管理対象デバイスおよび Windows サテライトデバイスとして次の Citrix* プラットフォームをサポート：
 - ◆ Citrix XenApp* MetaFrame* XP
 - ◆ Citrix XenApp Presentation Server 4.0
 - ◆ Citrix XenApp Presentation Server 4.5

1.6 製品の一般的なアップデート

ZENworks 10 Configuration Management SP2 では、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ Windows Vista* および Windows Server* 2008 のローミングプロファイルをサポート。

- ◆ Mono[®] 2.0 をサポート。
- ◆ Novell から、現在の問題、新規アップデート、キャンペーンなどについてアラートを表示。ニュースアラートを表示、更新、ソート、削除できます。

1.7 インストール

Novell ZENworks 10 インストールメディアには、次の製品が収録されています。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management SP2
- ◆ ZENworks 10 Asset Management SP2
- ◆ ZENworks 10 Patch Management SP2
- ◆ Asset Inventory for UNIX/Linux

4 つの製品すべてが、常にインストールされます。製品は、インストール時またはインストール後に有効な製品ライセンスを指定して (ZENworks 管理コンソール経由) アクティブ化します。製品に有効なライセンスがない場合は、製品を 60 日間評価できます。インストール時またはインストール後に評価期間を開始できます。

Configuration Management および Asset Management は、一緒に使用することも個別に使用することもできます。Patch Management には Configuration Management が必要です。Asset Inventory for UNIX/Linux には、Configuration Management または Asset Management が必要です。

詳細については、『*Zenworks Configuration Management インストールガイド*』を参照してください。

1.8 イメージング

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のイメージングでは、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ Symantec* Ghost をサポート。
- ◆ Windows イメージングフォーマット (.wim) および Ghost フォーマット (.gho) の複数のデバイスを持つデバイスのイメージングをサポート。
- ◆ Linux サテライトデバイス上でイメージング操作をサポート。
- ◆ tftp ディレクトリ変更をプライマリサーバからその他のイメージングサーバ (イメージングの役割を持つプライマリサーバまたはサテライトデバイス) に複製できます。

詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management 起動前サービスおよびイメージングリファレンス*』を参照してください。

1.9 ライセンシング

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のライセンスでは、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ デバイスにインストールされた次の製品のライセンス状態は、ZENworks 10 Configuration Management SP2 のインストール中に提供されるライセンスキーによって異なります。デバイスにインストールされた後、次の製品を評価、アクティブ化、非アクティブ化できます。
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management
 - ◆ ZENworks 10 Asset Management
 - ◆ ZENworks Asset Inventory for UNIX/Linux
 - ◆ ZENworks 10 Patch Management
- ◆ zman コマンドを使用して、すべての既知の ZENworks Configuration Management コンポーネントおよび DataModel プラグインの現在のライセンス状態を、2 つの別のリストで示します。これは license-show-active-components (または lsac) zman コマンドで実行されます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「ZENworks 製品ライセンス」を参照してください。

1.10 Personality Migration

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のパーソナリティマイグレーションでは、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ パーソナリティマイグレーションデータを、それぞれが特定のサイズに限定された複数のファイルに分散できます。これにより、データをリムーバブルメディアに保存できます。
- ◆ PNP ファイルをパスワード付きで暗号化できます。
- ◆ [パーソナリティの保存] または [パーソナリティの適用] アクションを使用して作成されたバンドルは、常にダイナミック管理者として実行されるようになります。

詳細については、『ZENworks 10 Personality Migration リファレンス』を参照してください。

1.11 ポリシー管理

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のポリシー管理では、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ ダイナミックローカルユーザポリシーの「一時的ユーザキャッシュの有効化」を選択して、指定した期間、一時的ユーザアカウントをデバイス上でキャッシュできます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ポリシー管理リファレンス』の「ダイナミックローカルユーザポリシー」を参照してください。
- ◆ iPrint ポリシー管理ユーティリティ (ippman)。ippman ユーティリティを使用して、既存の iPrint ポリシーを操作できます。
- ◆ ファイルバージョンをポリシーのシステム要件として使用できるようになります。詳細は、『ZENworks 10 Configuration Management ポリシー管理リファレンス』の「バンドル動作の表示」を参照してください。

1.12 リモート管理

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のリモート管理では、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ リモート管理操作は、プライベートネットワーク上またはファイアウォールの外側にある管理対象デバイス、または NAT(Network Address Translation) を使用するルータで実行できます。
- ◆ 外部認証局が管理ゾーンに展開されている場合、管理対象デバイス上でリモート管理操作を実行できます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management リモート管理リファレンス』を参照してください。

1.13 レポート機能

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のレポーティングサーバでは、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- ◆ ZENworks Configuration Management でサポートされている言語でレポーティングサーバをインストール
- ◆ 定義済みレポートのレイアウトの再設計。
- ◆ 64 ビット (x86-64) アーキテクチャをサポート。
- ◆ Windows 2008 プラットフォームをサポート。
- ◆ BusinessObjects Enterprise Reporting Engine XI R2.2の代わりにBusinessObjects* Reporting Engine XI R3.1 を使用。
- ◆ レポーティングユニバースを拡張して、カスタムレポーティングでのユーザ操作性を改善。以前のリリースの ZENworks Configuration Management で作成されたカスタムレポートを、このリリースの ZENworks レポーティングサーバに変換することはできません。レポートはこのリリースの ZENworks レポーティングサーバで再作成する必要があります。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management レポーティングサーバインストールガイド』を参照してください。

1.14 サテライトデバイス

ZENworks 10 Configuration Management SP2 は、サテライトデバイスに次の新機能または機能拡張を提供します。

- ◆ 管理されていない Linux デバイス (サーバとワークステーション) でサテライトの役割を実行できます。Linux サテライトデバイスの最小要件については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「サテライトの役割を実行する Linux デバイス」を参照してください。
- ◆ Linux デバイスをサテライトデバイスとして使用するため、その Linux デバイスに Linux 用 ZENworks Adaptive Agent を展開することはできます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ディスカバリ、展開、およびリタイアリファレンス』の「ZENworks Adaptive Agent の Linux サテライトへの展開」を参照してください。

- Linux サテライトデバイスをアンインストールできます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management インストールガイド』の「Linux サテライトのアンインストール」を参照してください。
- サテライトを1つの親ZENworksプライマリサーバから別のプライマリサーバに移動する場合は、コンテンツがまだデバイスでホストされていない場合はコンテンツ (バンドルとポリシー) を新しいプライマリサーバに追加します。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「サテライト」を参照してください。

1.15 アップグレード

ZENworks システム更新機能を使用して ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP2(10.2) にアップグレードする必要があります。詳細については、21 ページの第 3 章「ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP2 (10.2) へのアップグレード」を参照してください。

10.0.x からのアップグレードの詳細は、17 ページの第 2 章「ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP2 (10.2) へのアップグレード」を参照してください。

1.16 ZENworks Adaptive Agent

ZENworks 10 Configuration Management SP2 の ZENworks Adaptive Agent では、次の新機能や強化された機能が提供されています。

- 次の Adaptive Agent 機能をアンインストール、有効化、無効化できます。

アセット管理
バンドル管理
イメージ管理
パッチ管理
ポリシー管理
リモート管理
ユーザ管理

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「エージェント機能」を参照してください。

- デバイスにインストールした ZENworks Adaptive Agent ソフトウェアと Agent モジュールのバージョンを表示できます。詳細は、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「デバイス上の Adaptive Agent ソフトウェアとモジュールのバージョン表示」を参照してください。
- 特定の ZENworks Adaptive Agent バージョンがインストールされているデバイスを検索して、アップグレードまたはトラブルシューティングに役立てることができます。詳細は、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「特定のバージョンの Adaptive Agent がインストールされたデバイスの検索」を参照してください。

1.17 ZENworks コントロールセンター

ZENworks 10 Configuration Management SP2 は、ZENworks コントロールセンター (ZCC) に次の新機能または機能拡張を提供します。

- ZENworks コントロールセンターの製品を非アクティブ化できます。製品の非アクティブ化を選択すると、ZENworks コントロールセンターのすべての場所で非アクティブ化された製品の関連事項は何も表示されなくなります。製品の非アクティブ化の詳細は、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「[製品の非アクティブ化](#)」を参照してください。
- Novell についての現在の主な問題、ニュース更新、宣伝などの情報が、ZENworks コントロールセンターの「ニュースアラート」パネルに表示されます。ニュース管理の詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「[ZENworks ニュース](#)」を参照してください。
- ZENworks Configuration Management(ZCM)、ZENworks Asset Management(ZAM)、ZENworks Patch Management(ZPM) のどのバージョンが管理ゾーン内の ZENworks プライマリサーバで実行されているかを確認できます。詳細は、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「[サーバにインストールされている ZENworks ソフトウェアバージョンを確認する](#)」を参照してください。
- ブックマーク機能によって、通常のナビゲーションのようにクリックしなくても、Web ブラウザを使用して ZCC のさまざまな場所への直接アクセスを管理することができます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「[ZENworks コントロールセンターの場所のブックマーク](#)」を参照してください。
- 役割機能を使用すると、ZENworks 管理者の役割として割り当てることができる権限を指定することができます。特殊な役割を作成し、その役割に管理者を割り当てて、その役割に指定した ZCC の権限を許可または拒否することができます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「[管理者の役割の管理](#)」を参照してください。

1.18 ZENworks マイグレーション

ZENworks 10 Configuration Management SP2 のマイグレーションにより、従来の ZENworks から ZENworks Configuration Management にユーザグループとコンテナの関連付けを移行できます。

詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management ZENworks マイグレーションガイド』を参照してください。

1.19 ZENworks システム更新

ZENworks システム更新は、改良され、新しい強化機能が追加されました。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス』の「[ZENworks システムアップデート](#)」を参照してください。

ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP2 (10.2) へのアップグレード

2

このセクションでは、Novell® ZENworks® Configuration Management 10.0.x から ZENworks Configuration Management SP2(10.2) へのアップグレードについて説明します。ZENworks Configuration Management 10.1.x からのアップグレード方法については、[21 ページの第 3 章「ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP2 \(10.2\) へのアップグレード」](#)を参照してください。

ZENworks 10 Configuration Management 10.0.x から ZENworks 10 Configuration Management SP2(10.2) にアップグレードするには、デバイスは『[ZENworks Configuration Management インストールガイド](#)』の「[最小要件](#)」に記載された要件を満たす必要があります。

ZENworks アーキテクチャの変更により、ZENworks サーバと管理対象デバイスを、バージョン 10.0.x からバージョン 10.2 に直接アップグレードすることはできません。ただし、ZENworks システム更新とインストールメディアを組み合わせ使用して、10.0.x から 10.2 に移行できます。

重要：アップグレードプロセスで ZENworks Configuration Management の別バージョンを使用するため、アップグレードを実行するには別バージョンのマニュアルを使用する必要があります。次の参照ガイドの適切なバージョンの指示に従ってください。

ZENworks 10 Configuration Management SP2 にアップグレードするには、次のセクションのタスクを実行します。

- [17 ページのセクション 2.1「アップグレード前のタスク」](#)
- [19 ページのセクション 2.2「ZENworks Configuration Management 10.2 へのアップグレード」](#)
- [19 ページのセクション 2.3「アップグレード後のタスク」](#)

2.1 アップグレード前のタスク

BusinessObjects Enterprise サーバが ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバにインストールされている場合、サーバを ZENworks 10 Configuration Management SP2 にアップグレードすると BusinessObjects Enterprise は動作を停止します。

ZENworks レポートの作成と生成を続行するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks 10 Configuration Management プライマリサーバをアップグレードして、ZENworks Configuration Management (10.1.1) に更新します。詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management システム管理リファレンス](#)』の「[ZENworks システム更新の概要](#)」を参照してください。

2 BusinessObjects Enterprise サーバをプライマリサーバからアンインストールします。

◆ Windows の場合 : 次を実行します。

1. 管理者としてログインします。
2. デスクトップで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] の順にクリックします。
3. [プログラムの追加と削除] をダブルクリックして、BusinessObjects Enterprise サーバをアンインストールします。
4. コマンドプロンプトで、%ZENWORKS_HOME%\share\pmrboecleanup ディレクトリに移動します。
5. pmrboecleanup.bat ファイルを実行します。
(条件付き) レポーティングサーバがインストールされているプライマリサーバで、ZENworks Configuration Management(10.1.1) の更新とバンドルされた pmrboecleanup.bat または pmrboecleanup.sh ファイルを実行しないでください。ファイルを実行すると、レポーティングサーバはプライマリサーバから削除されます。この問題を解決するには、ZENworks Configuration Management(10.1.2) の更新にアップグレードします。その後 pmrboecleanup.bat または pmrboecleanup.sh ファイルを実行すると、レポーティングサーバはプライマリサーバから削除されません。
6. ログ情報を表示するには、%ZENWORKS_HOME%\logs\pmrboepostuninstall.log に移動します。

◆ Linux の場合 : 次を実行します。

1. root としてログインします。
 2. 次のコマンドを実行して、BusinessObjects Enterprise サービスを停止させます。
`/etc/init.d/BojEnterprise115 stop`
 3. 次のコマンドを実行して、BusinessObjects Enterprise サービスをアンインストールします。
`/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/uninstallBOBJE.sh`
 4. /opt/novell/zenworks/share/pmrboecleanup ディレクトリに移動します。
 5. pmrboecleanup.sh スクリプトファイルを実行します。
(条件付き) レポーティングサーバがインストールされているプライマリサーバで、ZENworks Configuration Management(10.1.1) の更新とバンドルされた pmrboecleanup.bat または pmrboecleanup.sh ファイルを実行しないでください。ファイルを実行すると、レポーティングサーバはプライマリサーバから削除されます。この問題を解決するには、ZENworks Configuration Management(10.1.2) の更新にアップグレードします。その後 pmrboecleanup.bat または pmrboecleanup.sh ファイルを実行すると、レポーティングサーバはプライマリサーバから削除されません。
 6. ログ情報を表示するには、/var/opt/novell/log/zenworks/pmrboepostuninstall.log に移動します。
- 3 レポーティングサーバを、BusinessObjects Enterprise サーバをアンインストールした同じプライマリサーバか、別のサーバにインストールします。レポーティングサーバのインストールについては、『ZENworks 10 Configuration Management レポーティングサーバインストールガイド』を参照してください。

2.2 ZENworks Configuration Management 10.2 へのアップグレード

- 1 17 ページのセクション 2.1 「アップグレード前のタスク」のステップを完了していることを確認します。
- 2 システム更新を使用して ZENworks サーバと管理対象デバイスを ZENworks Configuration Management 10.0.x から 10.0.3 にアップグレードします。
詳細については、『ZENworks 10 システム管理ガイド (http://www.novell.com/documentation/beta/zcm10/pdfdoc/zcm_upgrade/zcm10_system_admin_10.pdf)』の「ZENworks システム更新」を参照してください。
- 3 ZENworks 10.1 インストールメディアを使用して、すべてのプライマリサーバを 10.0.3 から 10.1 にアップグレードします。
詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management アップグレードガイド (10.1 バージョン) (http://www.novell.com/documentation/beta/zcm10/pdfdoc/zcm_upgrade/zcm101_upgrade_101.pdf)』を参照してください。
- 4 システム更新を使用して、10.1 プライマリサーバと 10.0.3 管理対象デバイスを 10.2 に更新します。
 - 4a (条件付き)ZENworks 内部データベースをホストするプライマリサーバを 10.1 から 10.2 に更新します。
 - 4b 管理ゾーン内のその他すべてのプライマリサーバを 10.1 から 10.2 にアップグレードします (アップグレードの順序は関係ありません)。
 - 4c 管理対象デバイスを 10.0.3 から 10.2 に更新します。

重要: バージョン 10.2 を適用する前に、ZENworks 10 Configuration Management の以前の更新を ZENworks コントロールセンターから削除してください。

詳細については、『ZENworks 10 システム管理ガイド (10.1 バージョン) (http://www.novell.com/documentation/beta/zcm10/pdfdoc/zcm_upgrade/zcm10_system_admin_101.pdf)』の「ZENworks システム更新」を参照してください。

2.3 アップグレード後のタスク

- 19 ページのセクション 2.3.1 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」

2.3.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール

ZENworks コントロールセンターを実行しているサーバにすでに ZENworks 10 Configuration Management File Upload 拡張機能がインストールされている場合は、サードパーティのイメージング操作を実行する前に、Novell File Upload 拡張機能を再インストールする必要があります。

- 1 Novell File Upload 拡張機能をアンインストールします。
Internet Explorer の場合: 次の手順を実行します。
 1. Internet Explorer* ブラウザのインスタンスをすべて閉じます。
 2. ブラウザの新しいインスタンスを起動します。

3. [ツール] > [インターネットオプション] > [全般] の順にクリックします。
4. [閲覧の履歴] パネルで [設定] をクリックします。
5. [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ウィンドウで [オブジェクトの表示] をクリックします。
6. [Downloaded Program Files] ウィンドウで [NFileUpload Class] を右クリックし、[削除] をクリックします。

Firefox の場合 : 次の手順を実行します。

1. [ツール] > [アドオン] の順にクリックします。
2. [アドオン] ウィンドウで [Novell ZENworks File Upload Extension 10.0.x] をクリックして、[アンインストール] をクリックします。
3. Firefox ブラウザを閉じます。
4. *Firefox_install_directory/plugins* ディレクトリを探し、npzenworks.dll および nsINZENScriptablePlugin.xpt ファイルをディレクトリから削除します。
5. Firefox を再起動します。

2 ZENworks 10 Configuration Management SP2 File Upload 拡張機能をインストールします。

次回 ZENworks コントロールセンターを使用してファイルパスをブラウズしたり、ファイルをアップロードしたりすると、最新の Novell File Upload Extension をインストールするようプロンプトが表示されます。プロンプトに従って Novell File Upload 拡張機能をインストールします。

ZENworks Configuration Management 10.1.x から SP2 (10.2) へのアップグレード

3

このセクションでは、Novell® ZENworks® Configuration Management 10.1.x から ZENworks Configuration Management SP2(10.2) へのアップグレードについて説明します。ZENworks Configuration Management 10.0.x からのアップグレード方法については、[17 ページの第 2 章「ZENworks Configuration Management 10.0.x から SP2 \(10.2\) へのアップグレード」](#)を参照してください。

Novell ZENworks 10 Configuration Management 10.1.x から ZENworks 10 Configuration Management SP2(10.2) にアップグレードするには、デバイスは『[ZENworks Configuration Management インストールガイド](#)』の「[最小要件](#)」に記載された要件を満たす必要があります。

ZENworks 10 Configuration Management SP2(10.2) アップデートは累積的で、次のバージョンからバージョン 10.2 に直接アップグレードできます。

- ◆ ZENworks 10 Configuration Management の次のいずれかのバージョンがインストールされているプライマリサーバ
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management with SP1 (10.1)
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.1) 用アップデート
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.1c) 用アップデート
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.2a) 用アップデート
 - ◆ ZENworks 10 Configuration Management (10.1.3) 用アップデート
- ◆ ZENworks 10 Configuration Management(10.0.3) 以降がインストールされている管理対象デバイス

ZENworks 10 Configuration Management SP2 にアップグレードするには、次のセクションのタスクを実行します。

- ◆ [21 ページのセクション 3.1「アップグレードで行われない処理の理解」](#)
- ◆ [22 ページのセクション 3.2「ZENworks レポーティングサーバのアップグレード前のタスク」](#)
- ◆ [22 ページのセクション 3.3「ZENworks Configuration Management 10.2 へのアップグレード」](#)
- ◆ [22 ページのセクション 3.4「アップグレード後のタスク」](#)

3.1 アップグレードで行われない処理の理解

ZENworks 10 Configuration Management または ZENworks 10 Configuration Management with SP1(10.1) で作成されたカスタムレポートは、ZENworks 10 Configuration Management with SP2(10.2) に移行できません。これらのレポートは ZENworks レポーティングサーバで作成し直す必要があります。

3.2 ZENworks レポートینگサーバのアップグレード前のタスク

ZENworks レポートینگサーバを ZENworks 10 Configuration Management SP2 プライマリサーバにインストールする準備として、ZENworks 10 Configuration Management SP1 プライマリサーバに ZENworks レポートینگサーバがインストールされている場合は、これをアンインストールします。

ZENworks レポートینگサーバをアンインストールする方法については、『ZENworks 10 Configuration Management レポートینگサーバインストールガイド』の「レポートینگサーバのアンインストール」を参照してください。

3.3 ZENworks Configuration Management 10.2 へのアップグレード

重要：バージョン 10.2 を適用する前に、ZENworks 10 Configuration Management の以前の更新を ZENworks コントロールセンターから削除することを推奨します。

- 1 システム更新を使用して、プライマリサーバと管理対象デバイスを 10.2 に更新します。
 - 1a (条件付き)ZENworks 内部データベースをホストするプライマリサーバを更新します。
 - 1b 管理ゾーン内のその他すべてのプライマリサーバを更新します (更新の順序は関係ありません)。
 - 1c 管理対象デバイスを更新します。

詳細については、『ZENworks 10 システム管理ガイド (10.1 バージョン) (http://www.novell.com/documentation/beta/zcm10/pdfdoc/zcm_upgrade/zcm10_system_admin_101.pdf)』の「ZENworks システム更新」を参照してください。

3.4 アップグレード後のタスク

- 22 ページのセクション 3.4.1 「Novell File Upload 拡張機能の再インストール」
- 23 ページのセクション 3.4.2 「WAIK のアップロード」
- 23 ページのセクション 3.4.3 「ZENworks レポートینگサーバのインストール」

3.4.1 Novell File Upload 拡張機能の再インストール

ZENworks コントロールセンターを実行しているサーバにすでに ZENworks 10 Configuration Management File Upload 拡張機能がインストールされている場合は、サードパーティのイメージング操作を実行する前に、Novell File Upload 拡張機能を再インストールする必要があります。

- 1 Novell File Upload 拡張機能をアンインストールします。

Internet Explorer の場合：次の手順を実行します。

 1. Internet Explorer ブラウザのインスタンスをすべて閉じます。
 2. ブラウザの新しいインスタンスを起動します。

3. [ツール] > [インターネットオプション] > [全般] の順にクリックします。
4. [閲覧の履歴] パネルで [設定] をクリックします。
5. [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ウィンドウで [オブジェクトの表示] をクリックします。
6. [Downloaded Program Files] ウィンドウで [NFileUpload Class] を右クリックし、[削除] をクリックします。

Firefox の場合 : 次の手順を実行します。

1. [ツール] > [アドオン] の順にクリックします。
2. [アドオン] ウィンドウで [Novell ZENworks File Upload Extension 10.1.x] をクリックして、[アンインストール] をクリックします。
3. Firefox ブラウザを閉じます。
4. `Firefox_install_directory/plugins` ディレクトリを探し、`npzenworks.dll` および `nsINZENScriptablePlugin.xpt` ファイルをディレクトリから削除します。
5. Firefox を再起動します。

- 2 ZENworks 10 Configuration Management SP2 File Upload 拡張機能をインストールします。

次回 ZENworks コントロールセンターを使用してファイルパスをブラウズしたり、ファイルをアップロードしたりすると、最新の Novell File Upload Extension をインストールするようプロンプトが表示されます。プロンプトに従って Novell File Upload 拡張機能をインストールします。

3.4.2 WAIK のアップロード

ZENworks 10 Configuration Management with SP1(10.1) を ZENworks 10 Configuration Management SP2 にアップグレードしている場合で、WAIK がアップグレード前にアップロード済みの場合は、ZENworks 10 Configuration Management SP2 のアップグレードの後に WAIK(winpe.wim) を再度アップロードする必要があります。

WAIK のアップロード方法については、『*ZENworks Configuration Management プレブート サービスおよびイメージングリファレンス*』を参照してください。

3.4.3 ZENworks レポーティングサーバのインストール

ZENworks レポーティングサーバが ZENworks 10.1 Configuration Management(10.1) プライマリサーバにインストールされている場合、サーバを ZENworks 10 Configuration Management SP 2 にアップグレードすると ZENworks レポーティングサーバは動作を停止します。

ZENworks レポートの作成と生成を継続するには、ZENworks レポーティングサーバをアンインストールしたのと同じプライマリサーバか、または別のサーバのいずれかに ZENworks レポーティングサーバをインストールします。ZENworks レポーティングサーバのインストールの詳細については、『*ZENworks 10 Configuration Management レポーティングサーバインストールガイド*』を参照してください。

